

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年11月14日

上場会社名 株式会社Fast Fitness Japan 上場取引所 東
 コード番号 7092 URL https://fastfitnessjapan.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 敦之
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 高嶋 淳 (TEL) 03-6279-0861
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,200	13.4	1,631	6.6	1,639	5.2	1,024	0.1
2022年3月期第2四半期	6,349	—	1,530	—	1,558	—	1,023	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,024百万円(0.1%) 2022年3月期第2四半期 1,024百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	54.80	54.08
2022年3月期第2四半期	54.76	54.03

- (注) 1. 当社は、2021年3月期第2四半期連結累計期間においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。
 2. 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
 3. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、売上高及び利益に影響はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	20,920	10,519	50.3
2022年3月期	21,429	9,662	45.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,519百万円 2022年3月期 9,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.00	—	10.00	12.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2023年3月期の配当予想については、現時点では未定です。
 3. 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	6.9	3,000	1.8	2,950	0.2	1,500	△11.9	80.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき1.3株、2021年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	18,719,980株	2022年3月期	18,705,180株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	13,561株	2022年3月期	12,561株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	18,695,026株	2022年3月期2Q	18,694,593株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実績の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー損益計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、『ヘルシアプレイスをすべての人々へ!』を企業理念として掲げ、24時間フィットネスジムの日本におけるパイオニアであるエニタイムフィットネスの運営を通じて「誰もが健康的に暮らせる、心豊かな社会」を実現することを目指し、店舗網の拡張や会員数の増強等、積極的な事業拡大を推進しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する経済活動の制限や行動制限が解除され、緩やかな改善の兆しが見られたものの、原油価格高騰の影響によるエネルギー価格の上昇に端を発した物価の上昇や急速な円安の進行等、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループが属するフィットネス業界におきましては、異業種からの参入に加え、同業種による低価格帯ジムの参入などにより、24時間型フィットネスジムは増加傾向が継続しております。このような環境のもと、当社グループの運営するエニタイムフィットネスは、1,000店舗を超える出店で培ったノウハウを活かした店舗開発と「安全」「安心」「清潔」「快適」な店舗運営により、24時間型フィットネスジム業界において、トップシェアを維持しております。

当社の成長ドライバーのひとつである会員数は、2022年5月から8月まで実施した新規会員を獲得のための施策である『史上最大の友達紹介キャンペーン』の効果により2022年7月には会員数が70万人を突破し、店舗当たりの会員数も順調に増加しました。一方、出店におきましては、経済活動の正常化が進み、様々な業種において物件取得の需要が高まる中、FCオーナー様への物件情報の提供などのサポート強化や新規FCオーナーの開発に注力し、出店を推進しております。

このような取り組みにより、2022年9月末時点の店舗数及び会員数は以下のとおりとなりました。

1. エニタイムフィットネス店舗数

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結 会計期間末 (2022年9月30日)
		出店数	退店数	
店舗数合計	1,002	37	3	1,036
内、直営店舗数	165	4	0	169
FC店舗数	837	33	3	867

2. エニタイムフィットネス会員数

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期連結 会計期間末 (2022年9月30日)	増減率 (前連結会計年度末比)
会員数合計	64.5万人	71.5万人	10.8%
内、直営店会員数	9.9万人	10.9万人	7.7%
FC店会員数	54.6万人	60.6万人	6.7%

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,200百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は1,631百万円（同6.6%増）、経常利益は1,639百万円（同5.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税を485百万円計上したこと等により1,024百万円（同0.1%増）となりました。

また、当社グループは、「地域社会の健康・安全を担うインフラ」になることを目指し、地域社会活動の促進に取り組んでおります。既にスポーツ推進に関する協定を締結していた静岡県浜松市では、小学生向けにアスリート社員によるキャリア教育の実施をするとともに、新たに大分県姫島村とも健康増進に関する協定を締結し、健康体操を考案・提供するなど、地域社会活動を推進しております。

当社グループは、エニタイムフィットネスのブランド価値を最大限に活かし、FCオーナー様並びに会員の皆様を選び続けたい魅力ある店舗運営を推進し、組織体制やガバナンスの強化を図ることで企業価値向上を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ509百万円減少し、20,920百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したこと等により流動資産が212百万円減少したこと、並びに、繰延税金資産が78百万円減少したこと等により固定資産が296百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,365百万円減少し、10,400百万円となりました。これは主に、未払金が524百万円減少したこと、並びに、借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が816百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ856百万円増加し、10,519百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,024百万円を計上したことによるものです。この結果、自己資本比率は50.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、9,029百万円となり、前連結会計年度末に比べて428百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は1,024百万円（前年同期は1,562百万円の資金の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,588百万円、減価償却費が482百万円あったのに対し、法人税等の支払額476百万円及び未払金の減少が149百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は446百万円（前年同期は691百万円の資金の支出）となりました。これは主に、直営店の出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が471百万円、敷金及び保証金の差入による支出が9百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は1,005百万円（前年同期は1,131百万円の資金の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が817百万円、配当金の支払額が186百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。当業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響が通期にわたって継続する想定で策定しております。今後の業績動向を踏まえ、連結業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,457	9,029
売掛金	1,217	1,178
商品	145	184
前払費用	342	368
その他	109	298
流動資産合計	11,272	11,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,422	7,625
工具、器具及び備品	3,769	3,873
減価償却累計額	△4,167	△4,620
土地	0	0
建設仮勘定	2	-
有形固定資産合計	7,028	6,880
無形固定資産		
のれん	92	80
ソフトウェア	75	54
その他	5	4
無形固定資産合計	173	140
投資その他の資産		
投資有価証券	1	1
長期貸付金	251	243
長期前払費用	595	573
敷金及び保証金	1,305	1,314
繰延税金資産	687	609
その他	113	97
投資その他の資産合計	2,955	2,839
固定資産合計	10,157	9,860
資産合計	21,429	20,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	126	33
1年内返済予定の長期借入金	1,635	1,600
未払金	936	412
未払法人税等	545	553
契約負債	1,923	1,911
賞与引当金	145	172
役員賞与引当金	26	6
その他	337	404
流動負債合計	5,677	5,095
固定負債		
長期借入金	4,808	4,027
資産除去債務	1,045	1,082
その他	235	195
固定負債合計	6,089	5,304
負債合計	11,766	10,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,173	2,183
資本剰余金	2,112	2,123
利益剰余金	5,420	6,257
自己株式	△44	△45
株主資本合計	9,662	10,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	9,662	10,519
負債純資産合計	21,429	20,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	6,349	7,200
売上原価	3,593	4,137
売上総利益	2,756	3,062
販売費及び一般管理費	1,225	1,431
営業利益	1,530	1,631
営業外収益		
受取手数料	15	26
受取保険金	28	12
為替差益	2	-
違約金収入	5	17
その他	1	0
営業外収益合計	53	56
営業外費用		
支払利息	21	18
支払手数料	4	1
株式交付費	0	0
為替差損	-	28
その他	-	0
営業外費用合計	25	47
経常利益	1,558	1,639
特別利益		
預り保証金返還免除益	-	12
特別利益合計	-	12
特別損失		
解約違約金	1	-
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	3	2
減損損失	-	60
特別損失合計	5	63
税金等調整前四半期純利益	1,552	1,588
法人税、住民税及び事業税	440	485
法人税等調整額	89	78
法人税等合計	529	563
四半期純利益	1,023	1,024
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,023	1,024

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,023	1,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	1,024	1,024
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,024	1,024

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,552	1,588
減価償却費	478	482
減損損失	-	60
のれん償却額	12	12
株式報酬費用	6	10
預り保証金返還免除益	-	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	27
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16	△20
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△201	-
受取利息及び受取配当金	△0	△0
受取保険金	△25	△7
支払利息	21	18
固定資産売却損益 (△は益)	0	-
固定資産除却損 (△は益)	3	2
解約違約金	1	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△30	38
棚卸資産の増減額 (△は増加)	103	△38
仕入債務の増減額 (△は減少)	△128	△93
前払費用の増減額 (△は増加)	△14	△15
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△1	21
契約負債の増減額 (△は減少)	4	△11
未払金の増減額 (△は減少)	△78	△149
長期未払金の増減額 (△は減少)	175	△27
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	58	△189
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	26	△176
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	0	0
小計	1,951	1,519
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△21	△18
法人税等の支払額	△516	△476
法人税等の還付額	150	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,562	1,024

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△623	△471
無形固定資産の取得による支出	△2	△0
固定資産の除売却による収支 (△は支出)	△1	0
資産除去債務の履行による支出	△31	-
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△101	△9
敷金及び保証金の回収による収入	31	0
保険積立金の解約による収入	60	23
その他	△22	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△691	△446
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	179	-
長期借入金の返済による支出	△1,157	△817
自己株式の取得による支出	△33	△1
配当金の支払額	△119	△186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,131	△1,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△259	△428
現金及び現金同等物の期首残高	9,333	9,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,073	9,029

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

当社グループは「エニタイムフィットネス」の単一ブランドで、国内においてフィットネスジムの店舗展開をしており、事業区分は「フィットネスクラブ運営事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは「エニタイムフィットネス」の単一ブランドで、国内においてフィットネスジムの店舗展開をしており、事業区分は「フィットネスクラブ運営事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。